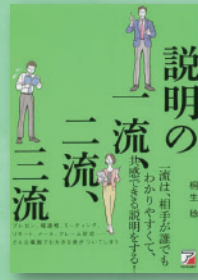


## 君に贈る物語

### 先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、それぞれ感想を寄せてもらいました。



#### 先輩：山下 嘉久のレビュー

中村君と同じチームになり約2年ほど経ちました。チームミーティングをしている中で、「説明」が上手く出来ていけば結果が出るのと感じる場面がよくありましたので、この本をすすめました。

この本は、営業として必要となる「説明の力」を「三流はこうする、二流はこうする、一流はどうする?」の流れで、「一流の実施している説明のやり方」が言語化されています。

営業マン・ビジネスマンとして、「説明」する場面は、商品・サービスの説明、結果・状況報告、提案・プレゼンテーションなど多々ありますので、私自身もとても役に立ちました。

日々の営業活動の中でたくさんの方にお会いする機会があり、その場面場面で説明や提案をする状況や、逆にお聞きする状況があります。そんな中で「この方は説明が上手だな」「この方は話がしやすいな」と感じることがあります。その方法論・答えがここに書かれていました。

この本を今回読んで、自身の役にも立ち気づきにもなり、実行してみようと思うポイントがたくさんありました。皆さんにも是非おすすめいたします!

#### 後輩：中村 祐貴のレビュー

日々の業務で社内の人やクライアントに対し、自分の伝えたいことを言語化して伝えることの難しさを感じるがよくあり、「あの時こう伝えれば良かった」と一人で反省することがあります。

山下さんからいただいたこの本では「説明の力」についてフォーカスされており、自分が1番に伝えたいことを会話の先頭で持つなど、今すぐにでも使えるテクニックがたくさん書かれているため、とても参考になりました。

この本で興味深かったのは、説明の上手い人と下手な人との二種の比較ではなく、一流、二流、三流の三段階で分けられているところで、より違いが明確になって分かりやすく、この本を読んだことで、いま自分がどの段階にあるのかを分析できる良い機会になりました。

説明力を向上させる方法だけでなく、困難に直面した際にどういった心構えで取り組めば成功に結びつくかなど、営業にとっても役立つ内容がたくさん書かれてました。文字も大きくて読みやすいので、皆さんも是非読んでみてください!



マーケティンググループSM  
山下 嘉久

マーケティンググループ  
中村 祐貴

#### 今回の書籍

『説明の一流、二流、三流』  
著者：桐生 稔  
出版：明日香出版社  
価格：¥1,650 (税込)



## ぶちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

### Lesson#17 デザインが完成するまでの重要な工程、「校正」!

校正とは、完成したデザインを印刷工程へ進める前に、誤字・脱字はないか、要望通りにデザインされているか、などの「デザイン上の不備」をチェックする工程を指します。

#### 校正作業の流れ



デザインされ、最初に行われる校正を初校といい、2度目を再校といいます。校了となれば校正作業は終了です。

#### 校正作業(赤字修正)と修正後

一箱税込5,000円のリンゴをいただきました。自然な赤色が特徴的な、冬越しリンゴという甘みの強いものだそうです。ステッキですね。

一箱税込5,000円のリンゴをいただきました。自然な赤色が特徴的な、冬越しリンゴという甘みの強いものだそうです。素敵ですね。

修正指示を入れる際は、「校正記号」が使用されます。これはJIS(日本工業規格)によって定められ、全国共通です。

デザインする量や、載せる文字情報が多いほど、誤字・脱字などの間違いのリスクは高まります。良いデザインができた後は、しっかりチェック、ですね!

### ～編集後記～

▶春は新たな出会いのシーズン。「一生の間に何らかの接点を持つ人の数はおよそ3万人」という説が世間ではまことしやかに伝わっていますが、これは80年生きるとして3万日前後、毎日誰かと1人接点があるとして算出された数だとか。もちろんこれは環境や人によって異なりますが、3万人と言えばもう、ちょっとした町の人口。自分を取り巻く世界がこれだけ広がっていると、人と人の関わり方についても少々考えさせられますね。

▶今回ご紹介した駒田グループスタッフの「人との距離の縮め方」に関するコメントでも、コミュニケーションをとるために、まずどう声をかけたら...という悩みが多く寄せられました。特に初対面の人に話しかけるというのは、結構勇気がいることだったりします。そんなときも、上に述べた「3万人の私の町で出会った1人」くらいの気持ちで、まずは明るく挨拶から始めるとまいくのかも。なにはともあれ、みなさまの周囲でも人と人が心地よく関わり、より良い何かが生まれていくような新年度になりますように。

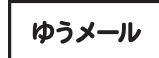


VOL. 80 2024

## 駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ? 楽しい? 情報をお届けしています。どうぞ皆様でご覧ください。また、毎号同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いください!

Tel:(052)331-8881(代) Fax:(052)332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>



なりたい! 推し! 憧れる!

## 新人たちが教える注目株

4月を迎え、コマダグループにもニューフェイスが登場。そこで、紹介かたがた自分が思う「注目株」を挙げてもらいました。彼らのフレッシュな抱負にも、どうぞ注目ください。

【質問】①特技 ②ハマっていること

New Face 1

一柳 明香

【質問】①手話で会話すること、ピアノ ②やりたいことリストを作ること

女優としても活躍中の乃木坂46・山下美月さんは笑顔できっちり仕事をこなすことから「山下プロ」とも呼ばれています。私も笑顔を忘れず、持ち前のコミュニケーション力でお客様のニーズに応えていきたいです。

New Face 2

加賀 隆太

【質問】①サッカー ②音楽

サッカー・プレミアリーグのフィル・フォードは数年後にはメッシのようになるであろう、23歳の注目選手です。私も若さと元気で多くの方とコミュニケーションを取れる人間を目指しています。

New Face 3

寺田 知晃

【質問】①焚火 ②キャンプごっこ

大学時代の仲間と先輩がDivaRoADというバンドを組みました! 精力的に活動し、夢を追っている姿に感動しています。私もガッツと愛で一生懸命頑張ります。どうぞよろしくをお願いします。

New Face 5

佐藤 朱莉

【質問】①簡単なイラスト作成 ②原神

ゲーム実況や弾き語りを配信するバーチャルYouTuber 甲斐田晴さんを「推し」です。「推し」という文化も熱量の高いムーブメントという意味で注目株ですね。私自身もお客様から「あなたが担当でよかった」と推される存在になりたいです。

New Face 4

木村 璃咲

【質問】①絵本風のイラストを描く ②旅行

私の注目株は歌手の西野カナさん。今は活動休止中ですが、多くの人が共感する曲を生み出してほしいです。私も笑顔と元気で精一杯がんばります!

New Face 6

関 駿也

【質問】①ご飯を食べ寝ること、野球 ②映画鑑賞、音楽鑑賞、散歩

ロックバンド UVERworld のボーカル TAKUYA∞さん、彼の歌詞やライブでの言葉、そして音楽へのストイックな姿勢に影響を受けています。私も真摯に物事に取り組み、人の心を動かし信頼を築いていきたいです。

### Special オマケ

## 1本で使い方3通り★『ボールペン&タッチペン』

スマホやタブレット端末で使えるタッチペン。しかもスマホスタンドにもなるボールペンです。



カラーはお楽しみ



みんなに聞いたライフハック

# あなたの毎日に💡なるほどヒント!

第8回

## 人との距離の縮め方

新年度を迎え、職場環境にも変化があるこの時期は人間関係の築き方について考える機会も多くなります。そこでコマダグループ各社のスタッフから上手なコミュニケーションの取り方について聞いてみました。

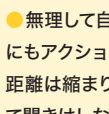
NICE



心がけていることや上手いくコツは…



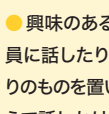
●質問するときは「Yes/No」ではなく、相手の発言に自由度を設けられるような尋ね方を (駒田印刷・戸田淳毅)



●無理して自分から絡むより、なにもアクションを起こさなくても距離は縮まりこそしないが、決して開きはしないと思いたい… (エイコープリント・佐藤博之)



●相手が「気づいてほしいな」という部分をできるだけ見つけて直球で褒めるようにしています (駒田印刷・齊川真友里)



●興味のある話題を仲の良い社員に話したり、デスクにお気に入りのものを置いておくと、部署を越えて話しかけてもらえたりします (駒田印刷・椎名愛)



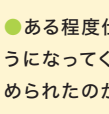
GOOD



「こんな時縮まった!」という瞬間は…



●部下から新人研修では習わない業務関連のtipsを「教えてください」と言われたとき (駒田印刷・横山英幸)



●ある程度仕事をこなせるようになってくると先輩から認められたのか、一気に距離が縮まった! (根間印刷営業所・春名賢二)



●話が自然と脱線し、そのまま話していったとき! (駒田印刷・千田拓実)



「苦手なことや悩みは?」という質問には、「上手に断れない/頼めない」「社交辞令や世間話」「敬語」「気を使いすぎて言いたいことが言えない」などの声が寄せられる一方、「特にない」という人は少数派。やはりコミュニケーションには何らかの難しさを感じている人が多いようです。心がけとして「傾聴」「相手のことをよく見る」「自分のペースで踏み込まない」ということを挙げている人も目立ちました。心地よい距離の取り方は、まず自分よりも相手を尊重することが大切になりそうですね。

OMG



「失敗した!」というエピソードは…



●説明をする際に使った言葉が、ジェネレーションギャップで通じなかった(テレホンカードetc.) (駒田印刷・花井貴弘)



●距離を縮めようと、ちょっと話題を振ったらがつり食いつかれて、なかなか話が終わらず… (伊勢出版・市野浩司)



●一気に距離を縮めようとしすぎて、ずばずばと余計なことまで質問してしまったこと (駒田印刷・有馬健斗)

Good Company, Good Job!

# きらりと光る施設さん

このコーナーではコマダグループ各社とお付き合いのある企業や施設をご紹介します。今回は俳人・松尾芭蕉のゆかりの地、東京都江東区にある「芭蕉記念館」をご紹介します。彼の偉大な功績はもちろん、俳句文学にまつわるさまざまな展示・企画が催されています。

【江東区芭蕉記念館 利用案内】

- 休館日/第2・4月曜日(ただし祝日の場合は翌日休館)。年末年始(12/29~1/3 ※1/2、1/3は正月特別開館で展示室のみ開館)。臨時休館(設備点検、展示替え等)
- 入館料/大人200円、小中学生・高校生等50円 ※深川江戸資料館・芭蕉記念館・中川船番所資料館の3館に、それぞれ1回ずつ入館できる共通券(大人500円、小中学生・高校生等100円)もあり ※各種優待制度あり、詳細はHPをご覧ください。
- アクセス/都営新宿線・都営大江戸線「森下」駅、A1出口より徒歩7分(EVはA3出口にあり)

## 俳句の魅力を芭蕉ゆかりの地で味わう

江戸時代、現在の三重県伊賀市に生まれた松尾芭蕉は29歳の頃、俳句を極めるために江戸へ下向。その後、37歳で深川に「芭蕉庵」という居を構え、ここを拠点に亡くなるまで多くの作品を残しました。今回ご紹介する江東区芭蕉記念館は、その「芭蕉庵」があり、「奥の細道」の旅の出発点ともなっている場所に昭和56年にオープン。館内には直筆の書簡(展示替えあり)や俳句文学に関する貴重な資料が数多く収蔵・展示されているほか、俳句や文学と身近に触れ合える企画展やイベント、講座なども多彩に催されています。奇数月には館主催の句会が開かれています。また、芭蕉の忌日である10月12日には毎年「時雨忌全国俳句大会」が開催され、著名俳人の選による表彰があります。

館外には芭蕉の句に詠まれた草木が植えられた庭園があり、芭蕉庵を模したお堂と芭蕉像、この地で詠まれたという「ふる池や蛙飛こむ水の音」の句碑などが置かれています。さらに、近くにある分館の屋上は隅田川と小名木川が眺望できる「芭蕉庵史跡展望庭園」となっており、閉館後の夜間は芭蕉像がライトアップされ、ゆっくり回転するという仕掛けも話題となっています。



また、この記念館では関連スポットを江東区文化観光ガイドと一緒に散策する「芭蕉ゆかりのまちあるき」を毎月開催(夏季を除く)。芭蕉の足跡や俳句の魅力を味わいながら歩いてみれば、きっとあなたも一句ひねりたい気分になることでしょう。

## information

### News 1

### シン・『BEST of KOMADA』もっとも模範的で頑張っていたのは誰?!

『BEST of KOMADA』とは社員が選ぶ一番ナイスな社員。すでに何人もBEST of KOMADAを輩出してきたこの企画が今期リニューアル!! これまでは全社員の中から1年に1人の選出でしたが、隔月・部門単位でナイスな社員を決め、年間で総合1位のナイス(何回も言います)な社員を決めるスタイルに変更されました。

先日、第1回目の投票が行われ、8人のナイスな社員が表彰されたのですが、さて、年間1位の栄誉に輝くのはいったい誰でしょうか?!

前期の『BEST of KOMADA』藤井 実 (DTPオペレーター) と社内に掲示された告知ポスター



### News 2

### 若手営業スタッフ特別プログラム 外部講師による研修に参加しました

今回のテーマは「自身のキャリアマネジメント」について。自己分析の方法や、その結果得られた自分自身のマネジメントの仕方を学びました。当日は東京営業所のスタッフも名古屋本社に集合し、普段接する機会が少ない社員同士も密に交流できました。参加者からは「他の社員の強みや違いを認識できる良い機会だった。」「困難への対処の仕方が勉強になった。」「モチベーションアップにつながった。」などの感想を聞けました。今後も当社は社員の成長機会の場を提供し続けて参ります!!

